



矢野邦夫

浜松市感染症対策調整監 兼  
浜松医療センター 感染症管理特別顧問

「ねころんで読めるCDCガイドライン（メディカ出版）」  
シリーズなど、CDC関連の編・訳書多数。

## 免疫不全者におけるオミクロン株 亜系統の予防と治療

CDCが「現在流行中のオミクロン株亜系統に対する予防と治療に関する免疫不全者向けの情報」[\[https://www.cdc.gov/mmwr/volumes/72/wr/pdfs/mm7205e3-H.pdf\]](https://www.cdc.gov/mmwr/volumes/72/wr/pdfs/mm7205e3-H.pdf) を公開しているので、その重要ポイントを紹介する。

### モノクローナル抗体

2023年1月20日の時点で、米国で流行しているSARS-CoV-2変異株の90%以上（特にオミクロン株BQ.1、BQ.1.1、XBB、XBB.1.5亜系統）は、SARS-CoV-2の曝露前予防に使用されるチキサゲビマブおよびシルガビマブのモノクローナル抗体の組み合わせ療法（エバシエルド®）の影響を受けにくい可能性がある。2023年1月26日、米国食品医薬品局（Food and Drug Administration, FDA）は、現時点ではエバシエルド®は米国でのSARS-CoV-2感染に対する曝露前予防薬として承認しないと発表した。そのため、「中等度から重度の免疫不全者」「COVID-19ワクチン接種に対する免疫反応が不十分な可能性がある人」「COVID-19ワクチンの接種が禁忌である人」は感染に注意し、追加の対策が必要であることを認識すべきである。

### 感染対策

屋内の混雑を避けることができない場合は、マスクを着用し、ほかの人と身体的距離を保つことが重要である。さらに、SARS-CoV-2の感染を減らすために、建物内の換気を改善し、空気の流れをよくすることが大切である。流水と石けんで頻繁に手洗いをすることは、ほとんどの状況で病原体を除去するための最良の方法である。石けんと水が利用できない場合は、60%以上のアルコールを含む手指消毒薬が代替手段となる。

### ワクチン

COVID-19ワクチン接種は、依然としてSARS-CoV-2関連の重症疾患、入院、死亡を防ぐための最も効果的な方法である。免疫不全者、その家族、濃厚接触者を含むすべての人は、COVID-19ワクチンの接種

を最新の状態に保つべきである。そして、接種資格があるならば二価ワクチンのブースター接種をすべきである。

中等度から重度の免疫不全者は、ワクチンによって十分な抗体ができない可能性があるが、COVID-19ワクチンの接種を最新の状態に保つことで、ある程度の予防となる。CDCの最近の研究によると、二価ワクチンのブースター接種が、これまで一価ワクチンを2~4回接種した免疫が正常に機能している人における症候性SARS-CoV-2感染に対して追加的予防効果を提供することが示された。

### 発症後もしくは感染後の対応

COVID-19の症状が現れたときの迅速な検査と、SARS-CoV-2が検出された場合の抗ウイルス薬への迅速なアクセスなどのケアプランを用意する。ワクチン接種の状況に関係なく、症状のある免疫不全者、その家族、その濃厚接触者は、迅速に検査を受け、発症から5~7日以内に治療を受ける必要がある。

**軽症から中等症のCOVID-19の早期外来治療は、一次治療で推奨されるリトナビルでブーストしたニルマトレルビル（パキロビッド®）またはレムデシビル（ベクルリー®）、もしくは、二次治療で推奨されるモルヌピラビル（ラゲプリオ®）によって、COVID-19の重症化リスク（入院や死亡を含む）を軽減することが示されている。**これらの薬剤は、現在流行しているオミクロン株の亜系統に対する活性を保持していると予想されている。COVID-19の治療薬は、COVID-19関連の罹患と死亡を防ぐのに非常に効果的なCOVID-19ワクチン接種の必要性に取って代わるものではない。



### 今月の 矢野編集長

浜松医療センターの近くにある佐鳴湖を歩いていたら、たくさん鳥が湖の杭の上に乗っていた。寒い日だったので、羽を温めていたのだろうか？